

令和7年度 事業計画について

1. 基本方針

- (1) 系統造成豚「ガッサンエル」の能力を引き継いだランドレース種の繫養・維持をはかるとともに、その基礎豚を活用した種豚の改良と増殖を推進し、良質な肉豚の安定生産に資する種豚を養豚生産者へ供給してまいります。
- (2) 種豚生産においては、防疫・衛生対策の徹底、ワクチネーション管理と検査の確実な実践を踏まえ、疾病のない健康な種豚づくりを基本とし、飼育管理が容易で健康な種豚の供給につとめます。
- (3) 種豚生産においては、種豚分娩哺育豚舎1号をフル活用し、品種を絞り込んだ効率的な生産体制の確立につとめます。

2. 重点事項

- (1) 生産基盤・生産体制の充実強化

ア. 優良種豚生産と安定供給

種豚供給はLD種に特化し年間541頭を目標として計画的に生産してまいります。

イ. 種豚維持と増殖事業

山形県と連携のうえ、交配計画の策定並びに防疫衛生対策へ取り組み、優良種豚の生産と維持にあたります。また、種豚育成・選畜など更新導入を計画的に実践し、能力の高い増殖種豚群を確保するとともに、今後の維持並びに増殖にかかる種豚郡の能力測定にあたります。

ウ. 肥育能力調査事業

種豚育成の対象外となる去勢・雌豚は、それらを素豚とする肥育能力調査を実施し、種豚能力や生産性などの考課測定を行います。

エ. 肥育事業の運営強化

平岡肥育農場では、飼育事故率の低減・上物率の向上のための生産成績の調査分析と肥育技術の改善をはかり、収益性の確保を目指します。

オ. 生産性の向上と人材育成

- (ア) 生産管理ソフト「PICS」の活用による繁殖成績データの分析検討を行ない、人工授精による受胎率の向上や画像診断装置を用いた「妊娠鑑定」を徹底し、繁殖成績の更なる向上をはかります。
- (イ) 生産成績にかかる指標値を定め、その達成を目指しながら、飼養管理技術の習熟度の向上をはかり、経営改善を意識する生産活動を推進します。
- (ウ) 月例会議などの実績検討と分析を行いながら、OJT（職場内人材育成）の取り組み強化をはかるとともに、職員のキャリア形成の促進並びに技術研

鑽や技能習得を目的とする外部研修会等へ計画的に参加します。

(2) 運営の健全化・施設設備の維持

ア. 将来的な事業運営・方向性を見さだめた経営健全化に向けた検討をすすめます。

イ. 生産環境の整備と維持に向けた再投資、資産の取得については、その機能と必要性を十分に把握のうえ、作業性・生産性も考慮し計画的にすすめます。

ウ. 種々の生産性向上対策をはかりつつ、コスト管理の徹底及び取扱品目の条件整備に取り組むとともに、事業収支の改善と財務の健全化につとめます。

(3) 防疫衛生・環境の保全

ア. 防疫衛生対策の維持・強化

(ア) 清浄な農場環境の維持を基本に、防疫衛生管理マニュアルの徹底をはかり、指導機関等の協力を得て抗体検査を実施し病原菌の侵入防止につとめます。

(イ) 特定疾病について、抗体検査を実施し早期発見による防御の徹底、疾病感染の未然防止に万全を期し、衛生レベルの向上につとめます。

(ウ) 適確な予防ワクチンプログラムを設定し、免疫付与効果を高め、予防効果の向上とあわせ効率的な接種により種豚生産におけるコスト低減につとめます。

イ. 環境保全の取り組み

(ア) 関係法令および地元自治会との「公害防止協定」を遵守し、家畜ふん尿の処理にかかる施設と機械の定期的な点検・保守管理につとめ、常に適正な運転状態を維持し地域の環境保全に取り組みます。

(イ) 生産環境の整備・改善をはかり、臭気苦情等へ適切に対応し、環境保全協議会への参画・開催のほか、地域イベントへの協賛を通じ地域住民との連携・融和をはかります。

以 上